



# ～水だより～

VOL.3

2019年3月発行

熊本県八代工業用水道

## ごあいさつ

熊本県企業局長 原 悟



熊本県工業用水道のユーザー並びに関係者の皆様におかれましては、日頃から八代工業用水道事業の運営に御支援、御協力を賜るとともに、熊本県経済の発展に御貢献いただき、心より感謝申し上げます。平成28年熊本地震からもうすぐ3年となりますが、今年も年明け早々和水町で震度6弱を観測する地震が発生しました。八代工業用水道の施設には幸い被害はありませんでしたが、引き続き、安定供給のため、適切な施設管理に努めてまいります。

八代工業用水道は、運営開始から40年を経過し、平成25年度から平成28年度にかけて導水

管強靱化事業を実施しました。このため、熊本地震では漏水事故はありませんでした。今後は、電気機械設備の更新・改修を進め設備の信頼性向上に努めていきたいと考えています。

企業局では厳しい経営状況、今後の設備更新費用増などを踏まえ、現在の浄水場の運転保守業務委託に加え、設備更新やユーザーの皆様へのサービスなどに民間活力を導入し、より効率的・効果的な運営を行えるよう、「コンセッション方式による官民連携の導入」を検討しています。

今後も丁寧な情報提供に努めて参りますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

## 老朽化した設備の更新・耐震化を進めています

八代工業水では、各種設備の老朽化が進行しており、八代市松崎地区などで導水管路の漏水事故が度々発生していたため、導水管路の強靱化対策を最優先課題として取り組むこととし平成25年度から平成28年度にかけて導水管路の更新を進めてきました。

平成28年度には、アセットマネジメントを踏まえた更新計画を策定し、計画的に設備更新を進めているところです。

平成30年度は、平成28年4月に発生した給水停止事故の原因である「受変電設備や予備発電機の更新」を行いました。

工事期間中は、新旧設備の切替時における一時的な給水停止等に対し、皆様のご理解・ご協力をいただきありがとうございました。

おかげをもちまして無事工事は完了して最新の機器に置き換わり、大幅にコンパクトになるとともに信頼性も向上し、今後の工業用水の安定供給に大きく寄与するものと期待しています。

また、来年度は、更新計画に基づき浄水施設である「薬注設備の更新」を予定しています。



【更新後の受電設備】



【更新後の予備発電機】

# PPP/PFI（官民連携）の導入を検討しています

～民間活力の導入によりサービス向上、経費節減を図ります～

昨年度(前号)でもご紹介しましたPPP/PFI導入の、その後の検討状況をお知らせします。

民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して、公共施設等の整備・運営を効率的かつ効果的に行うことにより、公共負担の抑制や良好なサービスの提供を確保、新たなビジネス機会の創出などを図る「官民連携」の取組みが、様々な分野で進んでいます。

PPP/PFIには様々な形態がありますが、八代工水については、現在でも運転保守業務や検針業務などを民間に委託する「包括的業務委託」を実施していますが、今回は、「コンセッション方式」の導入を検討しています。

「コンセッション」とは、施設の所有権を公共が有したまま、運営権を民間事業者を設定する方式のことです。

下図では、現在検討している官民の役割分担(スキーム図)を示しています。ユーザーの皆様へ

の対応としましては、現在は料金徴収(納入通知書発行、收受)やご利用に関する問合せは企業局総務経営課、量水器等の設備に関することは企業局工務課、日常の運用、ユーザーの皆様への検針業務については浄水場職員(運転保守業務受託者)が対応させていただいています。問合せ先が複数で、ご迷惑をおかけしていることもあるかと思いますが、コンセッション導入後は運営権者の直接対応により迅速化が期待されます。

施設の維持管理・更新については、運営権者の現地勤務者、関係メーカー技術員との連携や民間の創意工夫などにより、経費節減を行いつつ適切な運営が期待されます。

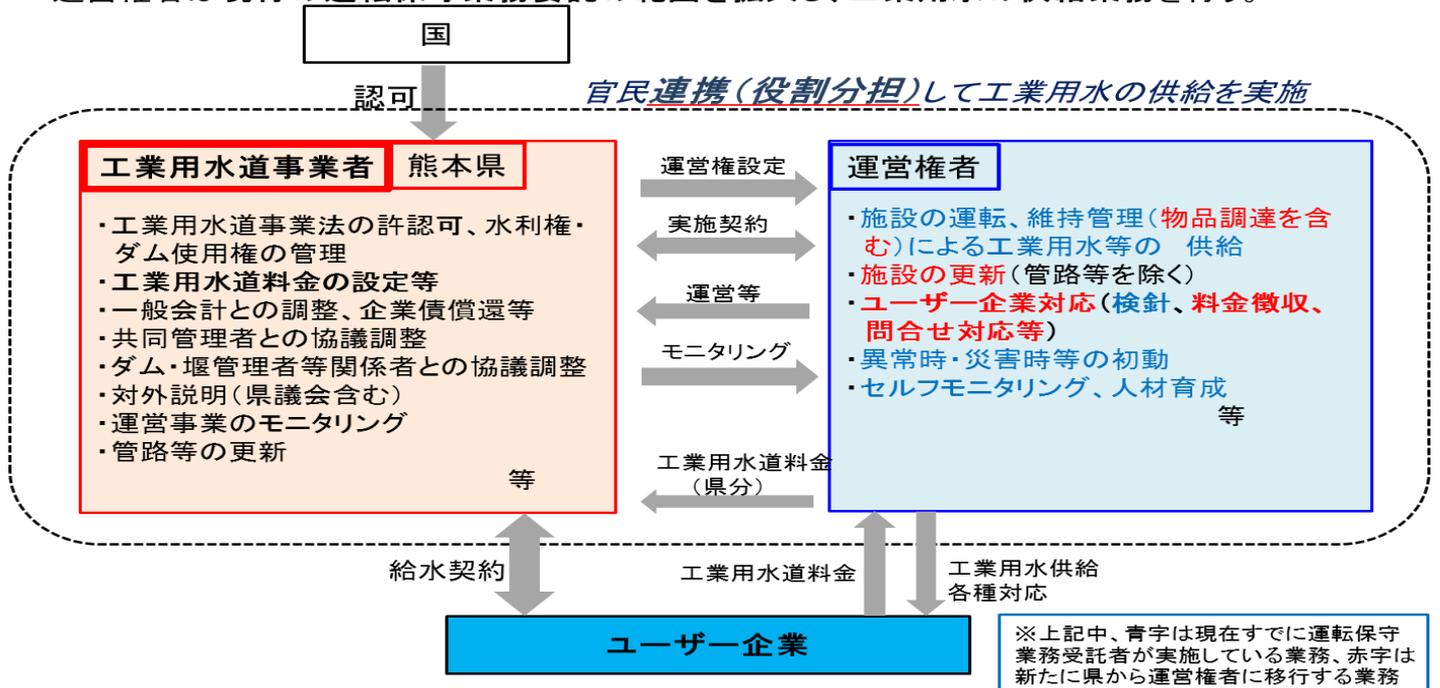
また、スケールメリットの観点から、有明工水と一括して導入する予定としています。

なお、ユーザーの皆様との給水契約や工業用水料金の許可、管路の更新などについては、県が引き続き責任を持って取り組むスキームとしています。

図：コンセッション導入想定スキーム

## 熊本県工業用水道事業のコンセッションにおける官民の役割分担

- ・工業用水道事業の公共性や、関係団体(共同管理者、ダム・堰管理者)との関係等を考慮し、県が引き続き工業用水道事業法の事業者となり、料金の許可や管路の更新等を行う。
- ・運営権者は現行の運転保守業務委託の範囲を拡大し、工業用水の供給業務を行う。



水道法改正関連の報道で一般的に心配されている

## 「コンセッション」の不安の声にお答えします。

Q1 料金値上げになるのか？

A1 料金は県の許可制とし、運営権者は料金徴収条例以上の料金徴収は出来ません。改定が必要となる場合には、県議会の承認を得る必要があります。

Q2 水質が悪化するのでは？

A2 現状と同じ水質基準を運営権者に設定し、県がモニタリングを行います。

Q3 サービスが低下するのでは？

A3 運営権者が直接対応窓口となるため、迅速かつ柔軟な対応が期待されます。

Q4 災害時の対応は大丈夫か？

A4 事業開始前に県と運営権者の対応業務や費用負担などのリスク分担を明確にします。そのうえで事業開始時にBCPを策定し対応遅れなどが無いようにします。

Q5 民営化ではないのか？

A5 県は工業用水道事業者として、所有権を持ち、引き続き責任を持って工業用水道事業を行いますので、民営化ではありません。

県は、料金の許可やユーザー企業の皆様との契約、管路・トンネルの更新等、運営権者のモニタリングなどを行います。万が一、運営権者側の対応に問題が発生した場合には、県が責任をもって対応します。

## 経営概況をお知らせします

～平成29年度決算より～

八代工水は、需要の低迷により長く赤字経営が続き、多額の累積欠損を抱えています。平成10年に上水道への一部転用をおこなったことなどから、概ね収支均衡基調となっており、平成29年度においても若干の黒字となっています。

しかし、今後は老朽化設備の更新が必要であり、厳しい経営となる見込みです。これからも、安定供給を確保しながら、需要開拓や経費縮減に取り組み、経営改善に努めてまいります。

### 1 業務量

項目	業務量
給水先事業所数	26 事業所
給水能力	27,300 m <sup>3</sup> /日
契約水量	9,500 m <sup>3</sup> /日
基本使用水量	7,073 m <sup>3</sup> /日

### 2 職員等の状況(3工水合計)

項目	業務量
職員数	7 人
職員給与費 <sup>(※)</sup>	63,081 千円

※退職給付引当金や法定福利費等を含む

### 3 財務状況(共同事業者負担分を除く)

貸借対照表	項目	金額(千円)	損益計算書	項目	金額(千円)
	総資産	1,566,018		総収入	132,619
	負債	2,913,165		(内料金収入)	(101,682)
	資本	△1,347,147		総費用	112,002
	累積欠損金	1,370,177		当期損益	20,617
			減価償却前当期損益	45,157	

### 4 企業債等残高

項目	金額(千円)	備考
企業債	0	
一般会計借入金	1,766,560	
苓北工業用水道事業からの借入金	373,863	

## 工業用水の水質状況をお知らせします

～平成29年度水質検査結果より～

皆様に供給している工業用水については、定期的に水質の検査をしています。平成29年度の平均水質は右表のとおり、供給規程上の水質基準(濁度10度以下、水素イオン濃度6.0～8.0)を超える日はありませんでした。

しかし、大雨などにより河川の濁りが著しくなった場合、浄水場の処理が追いつかず、一時的に水質基準を上回ることがあります。大雨の後の水の利用の際はご注意ください。

平成29年度 平均水質

項目	計測値
水温(°C)	17.0
濁度(度)	0.2
水素イオン濃度(pH)	7.0
アルカリ度(ppm)	37.8
硬度(ppm)	39.3
蒸発残留物(ppm)	85.2
塩素イオン(ppm)	5.3
鉄イオン(ppm)	0.08

※詳しい情報は、県HPでご覧いただけます。

熊本県工業用水道



## ダムカードを配布しています！！

熊本県企業局では、企業局事業のPRと地域貢献の観点から、企業局で管理している3つのダム(幸野ダム、船津ダム、都呂々ダム)のダムカードと、平成30年3月に撤去工事が完了した荒瀬ダムのカード2種類を配布しています。

幸野ダム、船津ダム、都呂々ダムの配布場所等については県のHPをご覧ください。

[http://www.pref.kumamoto.jp/kiji\\_24650.html](http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_24650.html)



荒瀬ダムカードは、①メモリアルカード、②コンプリートカードの2種類があり、お受け取り方法がそれぞれ異なります。

①メモリアルカード(荒瀬ダム撤去前後の写真を合成画像処理したカードです。)

荒瀬ダムの遺構がある八代市坂本町の【道の駅「坂本」】と【さかもと温泉センター「クレオン」】で配布しています。

②コンプリートカード(荒瀬ダム建設当時の貴重な写真を使用しています。)

企業局が管理する3つのダム(幸野ダム、船津ダム、都呂々ダム)を巡っていただき、ダムカードをすべて入手してから企業局にお申し込みください。詳細は県のHPをご覧ください。

[http://www.pref.kumamoto.jp/kiji\\_25116.html](http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_25116.html)

ぜひ、この機会に企業局のダムを巡ってみてください！

## お問い合わせ先

<水質等配水に関すること>  
八代工業用水道管理事務所  
TEL 0965-37-2164

<ご利用に関すること>  
企業局総務経営課  
TEL 096-333-2597  
FAX 096-384-9114  
E-mail

<施設や工事に関すること>  
企業局工務課  
TEL 096-333-2601  
FAX 096-384-9114  
E-mail

ksomukeiei@pref.kumamoto.lg.jp koumuka@pref.kumamoto.lg.jp

「八工 水だより」への感想や御意見をお寄せください。ksomukeiei@pref.kumamoto.lg.jp